

# NEWS RELEASE

平成 21 年 10 月 28 日

市光工業株式会社

ICK906

**市光工業株式会社**  
**中・大型トラックの角型リアコンビランプ用「融雪ヒーター」を**  
**12 月より発売開始**  
**～降雪中走行による積雪でも後方視認を確保し、寒冷地での追突事故を防止～**

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：河島 一夫、以下 市光工業）は、中・大型トラックの角型リアコンビランプ用「融雪ヒーター」を、12 月 1 日より発売開始します。

「融雪ヒーター」は、ランプカバーにヒーターを内蔵した製品です。中・大型トラックにライン標準で搭載される角型リアコンビランプに本製品を装着することで、降雪中の走行でも雪の付着を防ぎ、後続車の視認性を確保、寒冷地での追突事故を防止、軽減します。約 5 分で $-10^{\circ}\text{C}$ から $17.5^{\circ}\text{C}$ へ上昇し、素早く融雪するヒーター昇温特性を有しているほか、非降雪時におけるスイッチの切り忘れを防止するセンサーも搭載しています。また、独立した電気配線が可能であるほか、ビス留めで簡単に取り付けることができます。さらに、新車だけでなく、既販車にも装着が可能です。

本製品は、81,900 円（税込み）で、北海道地区、東北地区のいすゞ系ディーラーにて販売されます。市光工業は、リアコンビランプの光源がハロゲンから発熱量の少ない LED に移行しつつある中で、トラック市場向けに融雪ヒーターを用意することで、年間約 3,000 セットの販売量を目指します。

市光工業では、「安全」「環境」「コスト」を開発コンセプトに掲げ、より安全性が高く機能性とデザイン性とを融合させた新システムの開発提案を積極的に行っています。今後も、安全面で、見る機能、見られる機能、見させる機能を、また環境面では、質量低減、消費電力低減、空気抵抗低減を、更にコスト面では、革新技術による付加価値提案とコスト低減を重点項目とし、ランプ技術とミラー技術の両方を、システムとして提案していきます。

なお、「融雪ヒーター」に関する概要は別記の通りです。

世界の技術光源になる

**ICHIKOH**

(このニュースリリースは森林保護のために再生紙を使用しています。)

(参考)

「市光工業とは」

市光工業株式会社（以下 市光工業）は、1903年創業以来、自動車用ランプとミラーの純正専門メーカーとして、トヨタや日産をはじめとする国内すべての自動車メーカー及び、海外主要自動車メーカーに製品を納入してきました。その歴史は長く、1932年には初代ダットサン（日産）へランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納ミラー、水銀フリーHIDヘッドランプや次世代の光源として注目されているLEDヘッドランプなど独自の製品開発を主体的に行ってきました。これらの製品開発により、今日では国内において、自動車用ランプで21%、ミラーで26%といった大きなシェアを誇っています（2008年実績）。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問合せ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子／日置  
TEL：03-3443-7211

報道関係からの問合せ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL：03-3443-7211

(株)VAインターナショナル

田中／亀有  
TEL：03-3499-0016  
FAX：03-3499-0017

## 概要



リアコンビランプ用「融雪ヒーター」の製品イメージ

商品名： リアコンビランプ用「融雪ヒーター」

仕様：

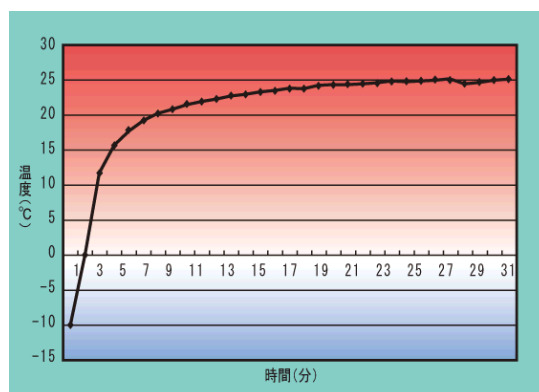
外形寸法	幅 160×高さ 150×奥行 8mm
重量	約 250g/枚
電源電圧	DC24V
消費電力	42W 以下
ケーブル長	15m

対応車種： 角型リアコンビランプを搭載した中・大型トラック

販売価格： 81,900 円 (税込み)

販売店： 北海道地区、東北地区のいすゞ系ディーラー

ヒーター昇温特性：



以上